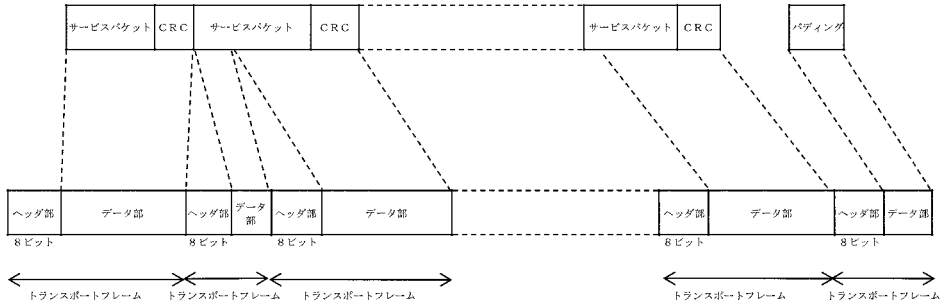
**別表第二十八号**　トランスポートフレームの構成（第36条第１項第２号関係）



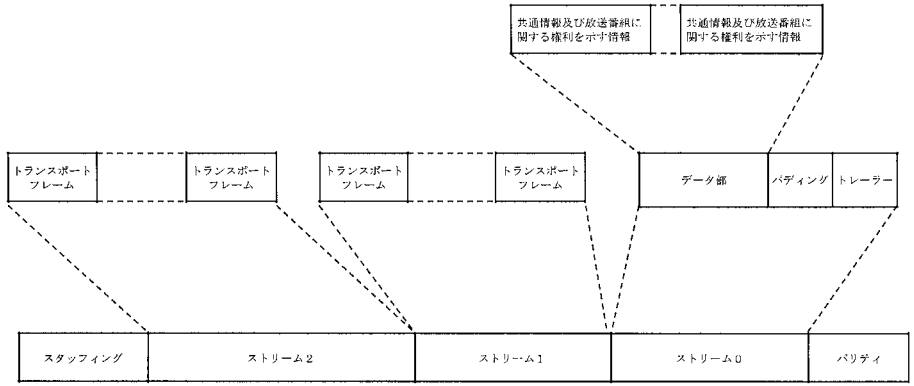

注１　ヘッダ部は、トランスポートフレームの分割・結合のために使用する。

２　データ部は、データ伝送のために使用する。

３　ＣＲＣは、データの誤り検出のための符号とし、省略してもよい。

４　パディングは、トランスポートフレームの長さを調整するために使用し、省略してもよい。

**別表第二十九号**　データチャネルＭＡＣプロトコルカプセルの構成（第36条第１項第３号関係）




注１　スタッフィングは、データチャネルＭＡＣプロトコルカプセルの長さを調整するために使用する。

２　パディングは、ストリーム０の長さを調整するために使用する。

３　トレーラーは、ストリーム０、１及び２の構成の識別並びに連続するデータチャネルＭＡＣプロトコルカプセルの集合に関する情報の伝送のために使用する。

４　パリティは、誤り訂正外符号のために使用する。

５　誤り訂正外符号は、別記に示すリードソロモン符号方式とする。

６　スタッフィング、第36条第１項第３号に規定する共通情報、放送番組に関する権利を示す情報、パディング、トレーラー及びパリティ並びにストリーム２又はストリーム１のうち一方は、省略してもよい。

別記　誤り訂正外符号方式

データチャネルＭＡＣプロトコルカプセル及びコントロールチャネルＭＡＣプロトコルカプセルに用いる誤り訂正外符号は、符号化率８／16、12／16又は14／16のリードソロモンとする。ここでリードソロモン符号の多項式は次のとおりとする。

符号化生成多項式：$g(x)=x^8+\alpha^{44}x^7+\alpha^{231}x^6+\alpha^{70}x^5+\alpha^{235}x^4+\alpha^{70}x^3+\alpha^{231}x^2+\alpha^{44}x+1$（符号化率８／16の場合）

符号化生成多項式：$g(x)=x^4+\alpha^{201}x^3+\alpha^{246}x^2+\alpha^{201}x+1$（符号化率12／16の場合）

符号化生成多項式：$g(x)=x^2+\alpha^{152}x+1$（符号化率14／16の場合）

体生成多項式：$p(x)=x^8+x^4+x^3+x^2+1$

**別表第三十号**　物理層パケットの構成（第36条第１項第４号関係）

| データ部 | ＣＲＣ | 未定義 | テール部 |
|---|---|---|---|
| 122バイト | ２バイト | ２ビット | ６ビット |

注１　データ部は、データ伝送のために使用する。

２　ＣＲＣは、データの誤り検出のための符号とする。

３　未定義の値は、全て‘０’とする。

４　テール部の値は、全て‘０’とする。

**別表第三十一号**　コントロールプロトコルパケットの構成（第36条第３項第１号関係）

| ヘッダ部 | データ部 | パディング |
|---|---|---|
| 32又は40ビット | ８×Ｎビット | |

注１　Ｎは、正の整数を示す。

２　ヘッダ部は、コントロールプロトコルパケットの識別のために使用する。

３　データ部は、データ伝送のために使用する。

４　パディングは、コントロールプロトコルパケットの長さを調整するために使用する。

**別表第三十二号**　コントロールチャネルＭＡＣプロトコルカプセルの構成（第36条第３項第２号関係）

